油圧装置故障の要因

油圧装置のトラブルのうち，７～８割が作動油中に存在するゴミ（汚染要因物）に起因すると言われています。
主な汚染要因物は，以下のとおりです。

- 粉塵　・・・・　空気中に浮遊する粉塵がタンクのエアーブリーザから混入したもの。
- 水分　・・・・　タンク内の空気中の水分が気温変動により分離し，水滴となりタンク内作動油に溶融したもの。
- 溶接スラグ　・・・・　洗浄した配管等に残留したスラグ等。
- 摩耗粉　・・・・　油圧ポンプ，モータなどの摺動部の摩耗によって発生する微粒鉄分。
- 作動油の劣化物　・・・・　高温，高圧によって分離された作動油中の添加物等の酸化物。

仕様

商品名	ハイパーフィルター
最高使用圧力	**3.5 MPa**
最大流量	**100 ℓ/min**
ろ過粒度 (絶対)	8 μm (ベータ値　β8　≧２００)
エレメント材質	特殊ろ紙
重量	**3.0　kg**
オプション品	取付け金具

お問い合わせ先はこちら

株式会社ＩMC　　名古屋営業本部

〒478-8650
愛知県知多市北浜町11-1　IHI愛知工場内
TEL: 0562-31-8080
FAX: 0562-31-8088

インターネットの情報もご覧ください
http://www.jmuc.co.jp/imc/

●カタログの内容は予告無く変更する場合がありますので、ご了承願います。　●カタログの写真や色は印刷により若干異なる場合が有ります。　●このカタログの制作は2014年7月です。

IHI-MARK Ⅱ デッキクレーン 専用

IMC

ハイパーフィルター

株式会社ＩMC

ハイパーフィルターとは？

ハイパーフィルターは、 IHI製デッキクレーン専用の作動油ろ過装置です。

本フィルターを追設し, 既設フィルターと併用するだけで作動油のろ過率が向上。
作動油汚染要因物から効果的に油圧装置を守ります。

油圧装置の中でも, デッキクレーンは高温多湿/ 寒冷地, 悪天候での使用等, あらゆる条件の下で, 鉄鉱石・石炭・セメント・穀物・ 木材等, 様々なバルクを取り扱うため, 汚染要因物質が混入しやすい環境にさらされています。
当社 (株) IMC は上記環境の下でも 作動油をクリーンな状態に維持し, 油圧装置を汚染要因物質による損傷から守るために IHIデッキクレーンの特長を活かし, 専用の追設ろ過装置を考案しました。

本体

内部

分解

特長

①常設

ハイパーフィルター1台/クレーン１基の常設品です。

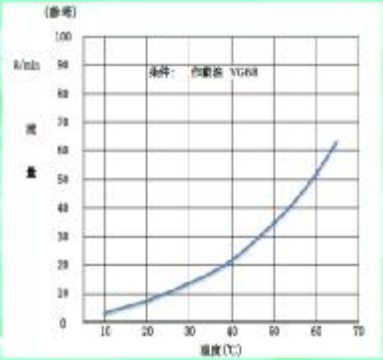
②メンテナンス不要

クレーン運転中にろ過されるため、特別なメンテナンスは必要ありません。

③安全安心設計

万一フィルターエレメントが目詰まりし、取替基準を超えた状態のまま使用されても, システムへの影響はありません。

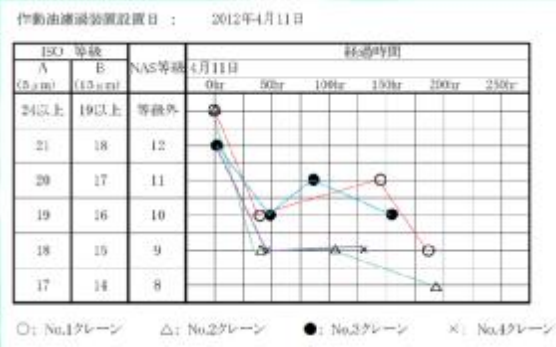
●フィルター通過流量



検証結果

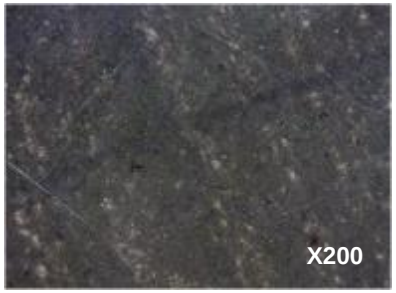
ハイパーフィルターをIHI製デッキクレーンに追設し, 実際の効果を検証。

●NAS等級



設置前, NAS等級外の作動油が50時間稼働後にはNAS等級10級まで浄化,
さらに200時間稼働後には9級まで浄化。

●ろ過汚染物質



微細な金属粉 (0.1 μm 以下) およびスラッジがろ過されていることを確認。

取扱い（フィルターエレメントの交換）

- フィルターエレメントの交換要領は, 取扱説明書をご参照ください。
- フィルターエレメントは，初回のみ100時間稼働後に交換してください。

  ２回目以降は6ヶ月毎（約３００時間稼働後）の交換を推奨します。
- 交換用フィルターエレメントのご注文は, 当社 (株)IMC にて承ります。